

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)  
 【単独・連携事業】

市町名	大田原市
-----	------

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	那須与一の郷・高館地域活性化推進事業	総事業費	4,436,289	4,532,000	3,000,000	2,000,000	2,000,000	15,968,289
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	6,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
2	城下町くろばね 地域活性化事業	総事業費	2,395,298	2,385,311	2,500,000	1,500,000	1,500,000	10,280,609
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	6,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
3	地域資源を活かした金丸地域の活性化事業	総事業費	2,110,607	1,621,289	1,700,000	600,000	600,000	6,631,896
		うち市町支出額	2,000,000	1,500,000	1,500,000	0	0	5,000,000
		うち県交付金	1,000,000	750,000	750,000	0	0	2,500,000
4	大田原市黒羽食文化普及推進事業	総事業費	1,545,975	962,269	900,000	300,000	300,000	4,008,244
		うち市町支出額	1,000,000	700,000	700,000	0	0	2,400,000
		うち県交付金	500,000	350,000	350,000	0	0	1,200,000
5	大田原市産農畜産物普及促進及びそれらを原材料とした商品開発事業	総事業費	2,200,000	1,832,561	200,000	200,000	200,000	4,632,561
		うち市町支出額	2,000,000	1,600,000	0	0	0	3,600,000
		うち県交付金	1,000,000	800,000	0	0	0	1,800,000
6	地域資源“大田原の星空”を活用した観光宣伝事業	総事業費	4,490,717	5,249,903	5,000,000	1,500,000	1,500,000	17,740,620
		うち市町支出額	2,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	6,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
7	あかがしの森保全および地域利用推進事業	総事業費	1,102,039	1,002,554	750,000	300,000	300,000	3,454,593
		うち市町支出額	1,100,000	1,000,000	750,000	0	0	2,850,000
		うち県交付金	550,000	500,000	375,000	0	0	1,425,000
8	おおたわら龍城せせらぎの舞実施事業	総事業費	1,149,000	2,052,745	2,100,000	1,101,000	1,101,000	7,503,745
		うち市町支出額	1,000,000	2,000,000	2,000,000	0	0	5,000,000
		うち県交付金	500,000	1,000,000	1,000,000	0	0	2,500,000
9	フクローの郷 地域活性化事業	総事業費	419,851	323,319	270,000	100,000	100,000	1,213,170
		うち市町支出額	400,000	250,000	250,000	0	0	900,000
		うち県交付金	200,000	125,000	125,000	0	0	450,000
10	両郷地区伝統芸能継承事業	総事業費	1,030,003	458,029	410,000	300,000	300,000	2,498,032
		うち市町支出額	1,000,000	400,000	400,000	0	0	1,800,000
		うち県交付金	500,000	200,000	200,000	0	0	900,000
11	花瓶山を主体とした地域活性化事業	総事業費		1,200,207	685,000	685,000	300,000	2,870,207
		うち市町支出額		1,180,000	660,000	660,000	0	2,500,000
		うち県交付金		590,000	330,000	330,000	0	1,250,000
12	佐良土地区伝統継承事業	総事業費		2,600,230	1,500,000	1,500,000	750,000	6,350,230
		うち市町支出額		1,500,000	1,000,000	1,000,000	0	3,500,000
		うち県交付金		750,000	500,000	500,000	0	1,750,000
13	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動による金丸・大田原の活性化事業	総事業費		1,515,337	1,600,000	1,600,000	500,000	5,215,337
		うち市町支出額		1,500,000	1,500,000	1,500,000	0	4,500,000
		うち県交付金		750,000	750,000	750,000	0	2,250,000
市町計		総事業費	20,879,779	25,735,754	20,615,000	11,686,000	9,451,000	88,367,533
		うち市町支出額	14,500,000	17,630,000	14,760,000	3,160,000	0	50,050,000
		うち県交付金	7,250,000	8,815,000	7,380,000	1,580,000	0	25,025,000

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	那須与一の郷・高館地域活性化推進事業
事業主体の名称	那須の郷高館活性化ネットワーク
代表者の名称	高崎 眞美
事業主体の所在	〒324-0206 大田原市中野内1226-2
事業主体の概要	団体の目的:市内北部の両郷周辺地域の活性化 設立年月日:平成25年4月1日 構成員等: 地区住民約50人(有機的、かつ総合的に活動しているメンバーがその中心的役割を担う)
当該事業に係る地域の現状と課題	両郷地区は、市内でも高齢化・過疎化が進んだ地区であるが、里山の豊かな自然に囲まれ、県内でも有数の農畜産物を産出する肥沃な穀倉地帯や那須与一宗隆公が居城したと伝えられる高館城址「黒羽藩」があるほか、郷土芸能(獅子舞、ささら、神楽、雅楽、太鼓)が盛んであった地区である。そのため、これらを活用して地域活性化を図るべく、平成20年から「那須の郷 高館まつり」を7回開催し地域の住民がお互いに文化芸術を情報発信するなど、自主的なつながりが生まれつつある。 しかし、地域を大切に思い地域を支える人材、特に次世代を担う人材が減少していることから、いかにして人材を確保・育成し、外から人を呼び込んでいくかが課題となっている。
事業目的	里山の自然や地域産物・農産物を生かしながら、郷土芸能・伝統行事を継承することにより、地区の子どもの郷土愛を醸成し、地域住民同士の交流を促進するとともに、地区外の人(特に若者)に興味をもってもらうことで、交流のきっかけ、ひいては移住のきっかけをつくることをねらう。
事業概要	【平成29年度】(下線は平成29年度からの取組) ①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ・獅子舞、ささら、神楽、雅楽等の郷土芸能や民間伝承等の調査・研究・記録 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成 ・高館まつりを開催した(開催時期・場所: 11月12日(日)・大田原市芸術文化研究所) 郷土芸能の披露、よさこい、芸術文化研究所作品展、彫刻制作等 ・両郷米、農畜産物のPRのため、各種イベントに試食してもらおうブースを出展 ・小学生による「農民道全一太鼓」「与一・屋島の合戦」の演奏、演劇等への協力 ・ホームページにて、両郷地区の魅力を伝えた。 ・第1回アーティスト・イン・レジデンス招聘作家との交流、高館まつりでの作品展示 ③大田原市の地域資源である「那珂川」を活用したイベントの開催 ・鮎釣り大会を開催した(9月3日 那珂川河川公園) ④周辺環境整備(高館城跡、地区内のヤマザクラ) 【平成30年度以降】 ・前年度の事業の評価を踏まえて、上記①～④を継続し、地域の魅力を一層高める。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→H32:320万人【H27実績:3,037,654人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②地域の魅力の発信と地域の担い手の育成	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②高館まつり ③鮎釣り大会 ④地域内の環境整備	①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②高館まつり ③鮎釣り大会 ④地域内の環境整備		①両郷地区に残る文化財及び祭事の研究、保存 ②高館まつり ③鮎釣り大会 ④地域内の環境整備
事業費	4,436,289	4,532,000	3,000,000	11,968,289	2,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	0
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,436,289	2,532,000	1,000,000	5,968,289	2,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚 健次
電話	0287-23-8701
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	城下町くろばね 地域活性化事業
事業主体の名称	黒羽・那珂川 あゆめの会
代表者の名称	直寛 浩子
事業主体の所在	〒324-0241 大田原市黒羽向町55 株式会社商美社内
事業主体の概要	・団体の目的: 江戸の城下町として栄えた黒羽は、芭蕉の里でもあり、那珂川の舟運は様々な宮と文化をもたらしてくれ、今なおその行まいが随所に残る。その財産を地域住民が再認識することにより、地域社会の活性化・地域おこしに寄与することを目的とする。 ・設立年月日: 平成26年3月15日 ・構成員等: 元気な那珂川の鮎女(あゆめ)そしてしっかり歩めをモットーに、黒羽地区の女性で組織する。(会員8名)
当該事業に係る地域の現状と課題	本会は、平成25年度の「大田原市街かど美術館」の会場となった「猪股邸」での美術展の評判を受けて、継続して古今の地元作家による芸術作品を多くの人々が鑑賞できる機会をつくることのできる美術展を開催するために結成された。平成26年度から「城下町くろばね展」と題して開催した結果、地域の街並み・建物・作品の素晴らしさを再認識したとの声が多く聞かれ、一定の成果はあった。しかし、この地域に居住する若い世代が、いかにして地域資源を活用し、地域活性化に携わろうとする機運を高め、地域から転出する人を抑制できるかが課題となっている。
事業目的	築100年という地域の伝統ある日本家屋において、地域住民が若い世代を巻き込んだイベントや講座等を開催することにより、若者をはじめとした地域内外の人々を呼び込み、黒羽地域に残る歴史・文化・自然の良さを知ってもらうことにより、地域の魅力を再発見したり、地域に関心をもつきっかけをつくることともに、住民等の相互交流を深め、地域に愛着をもってもらうことで、住み続けたいという思いを深めてもらうことを目的とする。
事業概要	【平成29年度】(下線は平成29年度からの取組) 《地域住民自身による地域資源の魅力発見・発信》 ①城下町くろばね展の開催(開催時期: 5月20日～28日(9日間) 開催場所: 日本家屋 猪股邸) ・版画、書、油絵、染色、木工、竹芸、陶芸、七宝焼 陶人形 黒羽在住作家9名の作品展示 ・寄席(外部・プロ)、箏・三絃・尺八(外部・プロ)の演奏、茶室、庭園の散策 期間中來場者836名 ②黒羽再発見講座の開催 ○藍染講習会(8/30 紺屋染物店)、○七宝焼体験(9/24、12/10 大田原市芸術文化研究所)、○黒羽食材料理教室(9/16 黒羽・川西地区公民館)、○正月かざり作り(12/16 黒羽・川西地区公民館)、○正月グッズ作り(12/16 黒羽・川西地区公民館) ③明治、大正時代に建てられた蔵が多く残されているため、38か所の蔵を巡る周遊ルートを形成し、案内パンフレットを作成した。(約200名が散策) 【平成30年度以降】 前年度の実施結果を評価分析し、継続して実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛による共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→H32:320万人【H27*実績3,037,654人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①城下町くろばね展 ②黒羽再発見講座の開催 ③高校生との交流事業	①城下町くろばね展 ②黒羽再発見講座の開催 ③蔵めぐりパンフレット作成	①城下町くろばね展 ②黒羽再発見講座の開催		①城下町くろばね展 ②黒羽再発見講座の開催
事業費	2,395,298	2,385,311	2,500,000	7,280,609	1,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	0
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	395,298	385,311	500,000	1,280,609	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調書)  
【単事業】

市町名	大田原市
事業名	地域資源を活かした金丸地域の活性化事業
事業主体の名称	金丸地区活性化協議会
代表者の名称	新江 章平
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 総合文化会館2F(大田原ツーリズム内)
事業主体の概要	・団体の目的:地域の住民、大学生、団体などを巻き込みながら、金丸地区内の自然や文化資源を活かしたイベントやボランティア活動を通して、観光地化し、交流人口を増やすとともに、地域活性化を図ることを目的とする。 ・設立年月日:平成28年4月1日 ・構成員等:金丸地区を中心とする住民や団体、学生等のボランティア
当該事業に係る地域の現状と課題	本協議会は、歴史や自然、文化的な地域資源があるにもかかわらず、地区の住民でさえそのことを知らない状況があったため、平成26年に国重要文化財である那須神社でジャズライブを開催するなどして、地域資源の価値を再認識してもらった活動を行ってきた。これにより、地域の価値を見いだす住民が徐々に増えてきているが、まだまだ地域資源の価値の認知度が低く、また、それぞれが連携して取り組む活動がない状況にある。今後、どのようにすれば住民同士が相互に協力し、連携しあうことができるか検討して必要がある。
事業目的	【新たな人の流れの創出と地域づくりのリーダーの育成】 地区の住民自身が、地域の歴史、自然、文化の価値に気づき、積極的にイベントやガイド養成等の多様な仕掛け、継続的に地域資源の情報発信に取り組むことにより、交流人口の増加を図るとともに、地域づくりの担い手を発掘、育成することを目的とする。
事業概要	【平成29年度】 (1)認知度や集客を高めるためのイベントに向けての事業 ①菊花祭 & 音楽祭 in 那須神社2017 菊花祭 11月6日～11月12日、音楽祭・キャンドルライト・大田原グルメ祭り 11月12日 ②地域清掃奉仕活動 7月26日 (2)来客者への満足度を高めるための観光地化への事業 ①生き物調査体験 8月20日 ②地域の子ども、大人による「地域を知る・理想の地域をつくる」ワークショップ ③金丸地区ボランティア案内スタッフガイド養成事業 【平成30年度以降】 前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛に満ちた共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→H32:320万人【H27実績:3,037,654人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊花祭 & 音楽祭りの開催 ②菊の栽培事業 ③地域清掃奉仕活動 ④イベントに向けて会場周辺整備 ⑤ワークショップ ⑥地域ガイド事業 ⑦案内板・看板・ポスター・販促ツール作成 ⑧地域資源を活かした交流人口を増やすための事業	①菊花祭 & 音楽祭りの開催 ②新たな文化を創出するための事業 ③イベントに向けてのボランティア整備 ④イベントに向けて会場周辺整備 ⑤ワークショップ ⑥地域ガイド事業 ⑦案内板・看板・ポスター・販促ツール作成 ⑧地域資源を活かした交流人口を増やすための事業	①イベントの開催 ②新たな文化を創出するための事業 ③イベントに向けてのボランティア整備 ④イベントに向けて会場周辺整備 ⑤ワークショップ ⑥地域ガイド事業 ⑦案内板・看板・ポスター・販促ツール作成 ⑧地域資源を活かした交流人口を増やすための事業		①イベントの継続的実施 ②地域スタッフ・ガイド運営 ③地域資源を活かした観光事業
事業費	2,110,607	1,621,289	1,700,000	5,431,896	600,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,000,000	1,500,000	1,500,000	5,000,000	0
うち県交付金	1,000,000	750,000	750,000	2,500,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	110,607	121,289	200,000	431,896	600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚優次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	大田原市黒羽食文化普及推進事業
事業主体の名称	黒羽ながら会
代表者の名称	清矢 彰
事業主体の所在	〒324-0234 大田原市前田928-1
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 大田原市黒羽の優れた地域資源や特産品を使用し、黒羽ご当地グルメを確立することにより、大田原市の魅力を高め、地域経済の活性化を図るとともに、昔ながらの食文化を大切に、時代にあった商品開発の意欲を高め、清流からの恵みとその清流を未来に引き継ぐ活動を展開する。</p> <p>・設立年月日: 平成23年2月10日 構成員等: 大田原商工会議所、黒羽商工会及び大田原市観光協会の会員</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>大田原市黒羽の「自然」「歴史」「文化」「食」関連の観光地や商品が既にあるが、市内外での認知度が低く、それらを活用した観光誘客や売上増加につながっていない。これまでに鮎を材料にした商品開発を行い各種イベントに出店し、PRをしてきた。その結果、地域住民・関係者を広く巻き込み、自らが地域の魅力に気づき、「自分ごと」としていくことや地域の魅力を積極的に発信し、地域を盛り上げていく人材を増やしていくことが重要であることが分かった。今後は、地域住民・関係者の一体感をいかに醸成していくかが課題である。</p>
事業目的	<p>生産者、加工業者、販売者等の各関係者が、「ご当地グルメ」の商品開発、販路拡大、PRを一体的に取り組むことにより、地域に関わる人同士の信頼関係を高め、先頭に立って地域を盛り上げる人材を育成するとともに、地域の魅力を自らの言葉で発信することで、市内外からの観光客を増加させ、地域住民・関係者、地域経済の好循環を図る。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】(下線は平成29年度からの取組)</p> <p>①地域資源や特産品を活用し、時代に合ったご当地グルメの開発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木DCに向けた積極的な商品開発(清流御膳、清流にぎり)とイベント出店</li> <li>・これまでに開発してきた地域の特産品「鮎」を使った商品の改良</li> <li>・子どもが好む「鮎」を使った商品の開発(子どもの川魚離れ解消のため)</li> <li>・これまで食材として利用されず廃棄されてきた「鮎」を使った商品の開発</li> </ul> <p>※以上を、手に取ってもらえるようパッケージデザイン、ネーミング、一目でわかるようなシールを貼るなど工夫した。</p> <p>②自主イベント開催を開催し、ご当地グルメをPRした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鮎まつり(6/3~4 道の駅那須与一の郷)、なか川清流まつり(11/19 道の駅那須与一の郷)の開催</li> </ul> <p>③各種イベント等での試食、販売等による販路の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与一くん誕生会(4/30 道の駅那須与一の郷)、くらばね紫陽花まつり(6/17~7/8 黒羽城址公園)、道の駅那須与一の郷夏まつり(8/27)、ご当地キャラクタースポーツ大会(9月3日 県北体育館)、天狗王国まつり(10/22荒天中止)</li> </ul> <p>④敬老会にて鮎の塩焼きを提供(9/10)</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>①~③の取組を評価・検討をした上で事業を実施する。④敬老会や学校行事に出向き、清流の恵みとその清流を未来に引き継ぐ活動を展開する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26: 3,038,548人→H32: 320万人【H27実績: 3,037,654人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ご当地グルメの開発・改良 ②ご当地グルメのPR ③イベント出店	①ご当地グルメの開発・改良 ②ご当地グルメのPR ③イベント出店 ④地域行事への参加	①ご当地グルメの開発・改良 ②ご当地グルメのPR ③イベント出店 ④地域行事への参加		①イベント出店 ②地域行事への参加
事業費	1,545,975	962,269	900,000	3,408,244	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	700,000	700,000	2,400,000	0
うち県交付金	500,000	350,000	350,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	545,975	262,269	200,000	1,008,244	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚 健次
電話	0287-23-8701
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	大田原市産農畜産物普及促進及びそれらを原材料とした商品開発事業
事業主体の名称	大田原農畜産物普及促進協議会
代表者の名称	佐藤 弘子
事業主体の所在	〒324-0055 大田原市新富町3-2-11
事業主体の概要	・団体の目的: 大田原市が生産する農畜産物を使用して新商品を開発し、活性化の要因となる人の集いを促進することも目的に掲げる。 ・設立年月日: 平成28年6月1日 ・構成員等: ユーミーよいち協議会のメンバー2名と理事2名の4名を中心に地域の自治会(鹿畑、奥沢、倉骨、宇田川) 等
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原市は牛肉やいちご等の農畜産物の生産が盛んであるが、特産ブランド化されたものがなく、地域の魅力がうまく伝わっていない。そこで、本協議会を立ち上げ、地域住民等が連携して地区の活性化に取り組む体制を整えた。今後は、いかにしてこの地区及び農畜産物を知ってもらい、地域の魅力を発信していくかが課題となっている。ギネスワールドレコーズを通してその意義を確固たるものとしたい。
事業目的	地区の住民や関係者たちが注目度のあるギネス記録に挑戦することにより、住民同士の一体感を醸成するとともに、地域の魅力に自ら気づき、自主的に地域の魅力を伝え、外から人を呼び寄せる取組を促進することを目的とする。
事業概要	【平成29年度】 ①ギネス記録挑戦イベントを開催した。 平成30年3月31日(土) 場所: 道の駅那須与一の郷 挑戦内容等: 大田原市産の野菜串(しいたけ、ウド)の長さでギネス記録に挑戦したが、記録認定にはいかなかった。 参加者208名 ギネス世界記録の町おこしニッポンの分野で、市農政課、市内農業団体とタイアップし、大田原市の農畜産物のPRを世界に向けて行うことができた。 ②前年度までの実施結果を活かし、継続して開発商品のブラッシュアップと販路開拓を行った。 【平成30年度以降】 ・前年度までの実施結果を活かし、継続して商品開発及び販路拡大に取り組む。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→H32:320万人【H27実績:3,037,654人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①地元の農畜産物を使った新商品開発 ②ギネス記録挑戦イベント開催の検討	①ギネス記録挑戦イベント開催とその仕組みづくり ②地元の農畜産物を使った新商品開発及び既存商品のリニューアル	①新商品販路拡大		①イベント継続開催 ②新商品販路拡大
事業費	2,200,000	1,832,561	200,000	4,232,561	200,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,600,000	0	3,600,000	0
うち県交付金	1,000,000	800,000	0	1,800,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	200,000	232,561	200,000	632,561	200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域資源“大田原の星空”を活用した観光宣伝事業
事業主体の名称	大田原市星旅祭実行委員会
代表者の名称	八木沢 政和
事業主体の所在	〒324-8641 栃木県大田原市本町1丁目2805番地3 大田原地域職業訓練センター内
事業主体の概要	団体の目的:環境省が認める「日本一の星空」に4度選ばれた大田原市の地域資源の一つである星空を活用し、都会から人を呼び込み賑わいを創出するとともに、大田原市民の方々に大田原市の景観の素晴らしさを改めて再発見してもらうことを目的とする。 設立年月日:平成28年4月25日 構成員等:地域おこし協力隊、天文関係者、観光関係者、地元商工業者、NPO、学生等
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原市では何年も前から人口減少・少子高齢化が問題となっているが、人を呼び込む策を見つけれずにいた。しかし、実は大田原市には、環境省が認める「日本一の星空」に過去4度も輝くなど、日本有数の星空観賞に適した場所という貴重な地域資源がある。市民にとっては星がきれいに見える空は当たり前であるため、星空が人を呼び込める大きな地域資源であるという認識をもっていなかった。
事業目的	・市外・県外の人到大田原市を訪れるきっかけをつくる。 ・「星空が綺麗なまち大田原」として大田原市の知名度を向上させる。 ・市民自身に地域の魅力を認識してもらう。 ・来場者到大田原市の魅力を知ってもらい、移住定住を促す。
事業概要	【平成29年度】《大田原市を訪れるきっかけ》 ①大田原市の星空の素晴らしさをPRするイベントを昨年に引き続き開催した。 「星旅祭2017inおおたわら」の開催 開催時期・場所:10月14日(土)、ふれあいの丘 星好き・旅好き・音楽好きが一堂に集まる野外FESTIVAL『星旅祭』～旅ゆけ 星空と音楽と出会う場所～ (来場者521名) ②ふれあいの丘で宇宙や星に関連した月に1度のプレイイベント開催 ・満月の夜桜ピクニック(4/11・雨天中止)、・星空ファンタジア(5/26)、・宇宙探検(6/1・雨天中止)、セタイイベント(7/1～2)、星旅人写真展(7/15～16、7/18～25)、クリスタルナイト(7/28)、宇宙探検(8/3)、月明かりのストレッチ(9/8) 【PR方法】 ・HPを中心に周知するとともに、インパクトのあるポスターを作成し、市内各所、関東圏の天文関連施設に掲示した。 【平成30年度】《大田原市を好きになってもらうきっかけ》 とちぎDCに合わせ早期からイベントの周知に取り組み、より多くの来場者を確保するとともに、大田原市のファンを増やす取組を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→H32:320万人【H27実績:3,037,654人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①星旅祭2016開催 ②ミニイベント開催 ③首都圏との交流事業	①星旅祭2017開催 ②ミニイベントの開催 ③首都圏との交流事業 ④大田原グルメの企画、開発	①星旅祭2018開催 ②ミニイベントの開催 ③首都圏との交流事業 ④大田原グルメの企画、開発		①星旅祭2019開催 ②首都圏との交流事業 ③大田原グルメの企画、開発
事業費	4,490,717	5,249,903	5,000,000	14,740,620	1,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	2,000,000	2,000,000	6,000,000	0
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,490,717	3,249,903	3,000,000	8,740,620	1,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	あかがしの森保全および地域利用推進事業
事業主体の名称	大豆田あかがしの森保全会
代表者の名称	小林 真先
事業主体の所在	〒324-0242 大田原市大豆田142
事業主体の概要	・団体の目的:1113年前に創建された大豆田の湯泉神社にある栃木県指定天然記念物「湯泉神社社叢」(樹齢600年)を後生に残すための保全活動や地域活性化事業を実施する。 ・設立年月日:平成28年5月22日 ・構成員等:事業の目的に賛同する大豆田地区の住民で構成する。(10名)
当該事業に係る地域の現状と課題	湯泉神社のアカガシは、地域の誇りであり、市内外からカメラ愛好家等が訪れる名所となっている。しかし近年、その樹勢に衰えが見られ、枯死する可能性が樹木医から指摘されており、地域の交流の拠点が失われつつある。この貴重なアカガシの森を後生へとつなげるため、専門家の協力を得ながら地域活動で保全や地域活性を図る必要がある。
事業目的	地域の心の寄り所となっているアカガシの樹勢を回復させ、イベントを開催して地域住民同士、市外からの観光客との交流の場を設けることにより、新しい人の流れをつくるとともに、地域の一体感の醸成を高め、地域に誇りをもつ人を増やし、地域づくりの人材を育成することをめざす。
事業概要	【平成29年度】(下線は平成29年度からの取組) ①住民によるアカガシの森の管理・保全 ・樹木医指導の下、地域住民で軽剪定、落葉掻きなどによる土壌改良、支柱設置で樹勢回復を図った。 ・あかがしの森の草刈りなどの整備を定期的に行い、地域の世代間交流の場の確保を行った。 ②地域交流イベントの開催 ・鮎のつかみ取りと串焼き体験(8月11日)、例大祭に合わせた子供相撲などのイベント(10月8日)、餅つき大会(12月10日)を実施した。 【平成30年度】 ①、②を前年の取組を評価検討したうえで実施する。 ③学校教育等での活用を実施する。 【平成31年度】 交付金に頼らず、単独事業での運営等を実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域づくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進) 【KPI②】文化芸術イベントの来場者数 H26:4,790人→H32:5,000人【H27実績:2,756人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①アカガシの森の管理 ②あかがしの森の地域活動による保全 ③地域交流イベントの開催	①あかがしの森の管理 ②あかがしの森の地域活動による保全 ③地域交流イベントの開催 ④地域交流の場としての活用	①あかがしの森の管理 ②あかがしの森の地域活動による保全 ③地域交流イベントの開催 ④地域交流の場としての活用 ⑤学校教育等での活用		①あかがしの森の地域活動による保全 ②地域交流イベントの開催 ③地域交流の場としての活用
事業費	1,102,039	1,002,554	750,000	2,854,593	300,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,100,000	1,000,000	750,000	2,850,000	0
うち県交付金	550,000	500,000	375,000	1,425,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	2,039	2,554	0	4,593	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp



栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	おおたわら龍城せせらぎの舞実施事業
事業主体の名称	大田原龍城せせらぎの舞実行委員会
代表者の名称	五月女 昌巳
事業主体の所在	〒324-0063 大田原市町島341
事業主体の概要	・団体の目的: 伝統文化・芸能の周知と伝承及び友好関係都市との交流 ・設立年月日: 平成27年6月28日 ・構成員等: 関係自治会長、土地改良区維持管理委員会、駐在所、地元企業、那須赤十字病院等
当該事業に係る地域の現状と課題	大田原小学校の学区は、蛇尾川で東西に分断されているという地理的条件から地域住民の交流が希薄になっており、市外の観光客を受け入れる態勢が生まれにくい状況にある。そのため、地域の特性や資源を活用した新たな集客・交流事業を創出することで、地域住民の交流・連携を促進する必要がある。
事業目的	大田原市内外から多くの観光客が訪れる「与一まつり」の前夜祭という位置づけのイベントを開催することにより、観光客の滞在時間の延長、宿泊を促進し、さらなる観光誘客につなげるとともに、地域住民の一体感を醸成することを図る。
事業概要	【平成29年度】(下線部は平成29年度からの取組) ①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催 日時: 7月30日 場所: 蛇尾川緑地公園 内容: 的当て大会、火入れ式、能楽体験、抹茶接待、能奉行、狂言、高校生による琴の演奏 趣旨: 日本の伝統文化を通して地域の活性化を図る。大田原市ならではの体験型観光として、狂言や能など見てもらうだけではなく、体験できる新しい形で観光客の獲得を図る。 周知方法: 地域住民の一体感を醸成するため、より多くの地元住民の参加を促すとともに、市内各所にポスターを掲示し集客を図った。 【平成30年度】 前年度の事業の評価検討したうえで、以下のことを実施する。 ・県立5校(那須拓陽高校・那須清峰高校・那須高校・黒羽高校・那須養護学校)との連携
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり) 【KPI②】観光入込客数 H26:3,038,548人→H32:320万人【H27実績:3,037,654人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催	①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催	①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催 ②県立5校との連携		①おおたわら龍城「せせらぎの舞」の開催 ②県立5校との連携
事業費	1,149,000	2,052,745	2,100,000	5,301,745	1,101,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	2,000,000	2,000,000	5,000,000	0
うち県交付金	500,000	1,000,000	1,000,000	2,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	149,000	52,745	100,000	301,745	1,101,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚徳次
電話	0287-23-8701
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	フクローの郷地域活性化事業
事業主体の名称	フクローの郷を守る会
代表者の名称	五十嵐 清市
事業主体の所在	〒324-0206 大田原市中野内237
事業主体の概要	・団体の目的:人口減少や高齢化の進む地域において、世代間の交流をより密にし、更に住みやすい地域を作る。 ・設立年月日:平成27年4月15日 ・構成員等:大田原市両郷地区の中野内下地域に住み、活気ある地域づくりを目指す各世代の有志(30名)
当該事業に係る地域の現状と課題	現在、両郷地区から近隣市町に転出する住民の増加による人口減少、住民の高齢化により地域社会を維持することが年々困難になりつつある。一方で、地区内の空き家をリフォームし、移住してくる若い家族が現れ始めている。このように地域社会再生の糸口が見えつつあるが、古くから地区で生活している住民が自身の地域の良さを忘れている。今後、どのようにして住民自らが地域の良さに改めて気づき、その良さを共有していくかが課題となっている。
事業目的	住民相互の交流を促進し、地域の魅力を再認識させることにより、住民自らが地域社会の維持を担い、すでに居住している者、新たな移住者それぞれにとって、より住みやすい地域を協働して創りあげ、人が人を呼ぶ好循環を創りあげる。
事業概要	【平成29年度】 ・世代、地域間交流の促進(きっかけづくり相互理解) ①収穫感謝祭の開催(12月3日) 地元の住民と移住者家族が、そばの種まきから収穫・感謝祭までを近隣地区にも参加を呼びかけ、企画、実施した。 ②そば打ち体験の実施(8月5日) 育成会と連携し、地区の小学生にそばの打ち方を教えることをきっかけにして、世代間交流を図った。 ③地域住民の意識改革の促進(きっかけづくり理論的理解→人材発掘) ④地域づくり関連の講演会の開催(3月17日) 昨年度開催した、地域づくり講演会(講師:宇都宮大学地域デザイン科学部教授)を引き続き開催し、これまでの地域づくりの取組を評価していただくとともに、新たな視点での地域おこしの手法を学んだ。 【平成30年度以降】 ①～③を反省点等を踏まえて、継続的に実施する。 また、③に触発された人材を発掘し、新たな地域の担い手になることで、事業の自立を促進させる。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知意と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」(教育活動の充実) 【KPI②】若者意向調査での「大田原市に卒業後も住んでみたいと思う、いつかは住んでみたい」と思うと回答した人の割合 H26:25.1%→H32:30%【次期調査時まで把握不可能】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①収穫感謝祭 ②育成会そば打ち体験 ③宇都宮大学 地域デザイン科学部の講演会	①収穫感謝祭 ②育成会そば打ち体験 ③講演会	①収穫感謝祭 ②育成会そば打ち体験 ③講演会		①収穫感謝祭 ②育成会そば打ち体験
事業費	419,851	323,319	270,000	1,013,170	100,000
市町支出金 (ソフト事業分)	400,000	250,000	250,000	900,000	0
うち県交付金	200,000	125,000	125,000	450,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	19,851	73,319	20,000	113,170	100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	両郷地区伝統芸能継承事業
事業主体の名称	檀山松葉の会(だんざんまつばのかい)
代表者の名称	菊池 正美
事業主体の所在	〒324-0206 大田原市中野内182
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>団体の目的: 大田原市両郷地区に古来より伝わる伝統芸能(囃子、太々神楽など)を習得、継承する。</li> <li>設立年月日: 平成28年5月28日</li> <li>構成員等: 現在及び過去において、両郷地区の伝統芸能に携わった者の有志と事業の目的に賛同する者(16名)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	大宮温泉神社へ奉納してきた檀山松葉流囃子、中野内太々神楽などは、地区で代々受け継がれてきた伝統芸能であるとともに、地域コミュニティの一体感を生み、地域の魅力を発信する、貴重な地域資源である。しかしながら、高齢化の進行や若者層の流出により、演者が減少したことで、保存・継承が困難になり、コミュニティ意識の希薄化が進み、地域内外との交流が減少している。地域の誇れる文化として、さらにアピールし、後継者の確保を図る必要がある。
事業目的	継承すべき演目・囃子の発掘・習得・発信し、伝統芸能に携わる人(演者等)、興味を持つ人(ファン)を増やしていくことにより、次世代の地域の担い手を育成するとともに、人が人を呼ぶことで、地域と交流する人口を増やす。
事業概要	<p>【平成29年度】(下線は平成29年度からの取組)</p> <p>①伝統芸能の魅力に気づく(自分たちが気づく)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・演目の発掘、習得(発表会、地域行事での披露する前に週2回程度の練習会を行う。)</li> <li>・若い担い手の発掘、確保(定期的に小学生にお囃子を教えることで、保護者を巻き込んだ勧誘活動を行う。)</li> <li>・他地域との交流(大田原市屋台まつりでの囃子の披露を通した市内での地域間交流を実施する。)</li> </ul> <p>②魅力を伝える(発表・披露の機会を設け、ファンを増やす)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「大宮温泉神社例大祭」(4/8~4/9)、「大田原市屋台まつり」(4/15~4/16 大田原市中心市街地)、「茅の輪くぐり」(7月下旬 大宮温泉神社)、「高館まつり」(11月中旬 大田原市芸術文化研究所)、「歳旦祭」(12/31 大宮温泉神社)</li> <li>・<u>両郷中央小学校にて披露(11月)</u></li> </ul> <p>③他地域との交流から技術を学び、伝統芸能を進化させる</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度の事業実施の反省点を踏まえて、PDCAサイクルをまわし、①~③を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】</p> <p>【目標②】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」(教育活動の充実)</p> <p>【KPI②】若者意向調査での「大田原市に卒業後も住んでみたいと思う、いつかは住んでみたい」と思うと回答した人の割合 H26: 25.1%→H32: 30%【次期調査時まで把握不可能】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①担い手の確保、定期演奏、他地域との交流 ②デジタルデータ化 ③各種イベントでの芸能発表 ④楽器、衣装等のリニューアル	①担い手の確保、定期演奏、他地域との交流 ②デジタルデータ化 ③各種イベントでの芸能発表	①担い手の確保、定期演奏、他地域との交流 ②デジタルデータ化 ③各種イベントでの芸能発表		①担い手の確保、定期演奏、他地域との交流 ②各種イベントでの芸能発表
事業費	1,030,003	458,029	410,000	1,898,032	300,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,000,000	400,000	400,000	1,800,000	0
うち県交付金	500,000	200,000	200,000	900,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	30,003	58,029	10,000	98,032	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	花瓶山を主体とした地域活性化事業
事業主体の名称	花瓶山の会
代表者の名称	田代 義継
事業主体の所在	〒324-0211 大田原市須賀川2981
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的: 花瓶山という自慢できる場所を愛好家を通して多くの人にアピールし、地域の活性化を図ることを目的とする。</li> <li>・設立年月日 : 平成28年5月21日</li> <li>・構成員等 : 事業の目的に賛同する者(主に須賀川地区の住民で構成する。20名)</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	須賀川地区に存在する花瓶山は、国有林の中にあるため、地元の住民でも知らない者が多かったが、最近は県内はもとより、首都圏からのツアー客も増えており、休日ともなると100人近くの観光客が訪れている。人口の減少が続く、高齢化率が41%を超える須賀川地区にあって、この「花瓶山」を地域資源と捉え、今後いかにして保全し、後世に引き継いでいくか地域が一体となって考えていく必要がある。
事業目的	須賀川地区に住む住民自身が花瓶山を地域資源と捉え、一体となって保全し、継続的に情報発信に取り組むことにより、観光客を呼び込むことを目的とする。合わせて、活動を通して、世代間の交流を進め、地域の一体感を醸成し、地域に誇りをもつ住民を増やし、地域づくりの人材を育成することも目的とする。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>①シーズン中に現地調査、パトロールを行った。 -イワウチワの開花時期(4月)、カタクリ草の開花時期(5月)、新緑の時期(6月)、紅葉の時期(11月)</p> <p>②遊歩道の環境整備を実施した。</p> <p>③新たな観光スポットづくり(休耕田を活用したレンゲソウの花畑)</p> <p>④観光客用の簡易トイレ、簡易休憩所を設置した。</p> <p>⑤地域交流の一環として、そばの栽培、収穫を行い交流を深めた。</p> <p>⑥山の日記念全国大会の連携イベントとして、「花瓶山新緑ハイキング」を6月4日に開催した。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>上記①～⑤を行うほか、平成29年度の実績を評価検討し、新たなイベントを模索するとともに、地域で稼ぐ力を備えることや地域の価値を向上させることを検討する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛がある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(地域資源を活用した観光振興 魅力ある観光地づくり)</p> <p>【KPI②】観光入込客数 H26: 3,038,548人→H32: 320万人【H27実績: 3,037,654人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①花瓶山保全活動 ②遊歩道の環境整備 ③花畑づくり ④休憩所の設置 ⑤地域交流 ⑥新緑ハイキング	①花瓶山保全活動 ②遊歩道の環境整備 ③花畑づくり ④休憩所の設置 ⑤写真展 ⑥新緑ハイキング ⑦検証作業	①花瓶山保全活動 ②遊歩道の環境整備 ③花畑づくり ④休憩所の設置 ⑤写真展 ⑥新緑ハイキング ⑦独自イベント開催		①花瓶山保全活動 ②花畑づくり ③写真展 ④新緑ハイキング ⑤独自イベント開催
事業費	1,200,207	825,000	685,000	2,710,207	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,180,000	800,000	660,000	2,640,000	0
うち県交付金	590,000	400,000	330,000	1,320,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	20,207	25,000	25,000	70,207	300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚 健次
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohtawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	佐良土地区伝統継承事業
事業主体の名称	佐良土地区活性化協議会
代表者の名称	生田目 昭一
事業主体の所在	〒324-0404 大田原市佐良土681-2
事業主体の概要	団体の目的:佐良土地区住民の地元への愛着心を育て、安心で安全な地域づくりを行うとともに、佐良土地区の活性化を図ることを目的とする。 設立年月日:平成29年3月26日 構成員等:佐良土地区 241世帯(役員約30名)
当該事業に係る地域の現状と課題	佐良土地区は、光丸山の門前町として栄えたところで、通りは今も当時の町並みを残している。平成元年から平成4年に栃木県の補助事業を受け、各家の前に屋号を掲げる「佐良土門前町並屋号宿」づくりに取り組み、歴史と文化が息づく個性豊かなまちづくりを進めてきた。 近年、人口減少、自営業者の減、共働き世帯の増加などにより、地域住民の世代間交流が希薄になってきていることから、地域の祭事を通じ、地域住民の交流、連携を促進する必要がある。
事業目的	佐良土地区に受け継がれてきた歴史・文化の象徴として、国選択無形民俗文化財である「大捻縄引き」があるが、人員、金銭面の負担を理由にしばしば休止し、平成18年に湯津商工会が中心となって実施して以来途絶えている状況となっている。このような中、佐良土小学校の保護者がまとまって、佐良土区に復活の要望が提出された。地域住民の世代間交流が希薄になる中、大捻縄引きの復活一つの契機と捉え、地域内交流を進め、100年後も『佐良土に住むことの誇り』という熱意のもと事業を展開していく。
事業概要	【平成29年度】 ①「大捻縄引き」の復活開催 日時:8月19日(土)、会場:佐良土多目的交流センター、付近園道で開催した。 内容:稲わらを寄りあげてつくった大縄(直径50cm、長さ50m)を大勢の人達で引き合う勇壮な綱引き ②諏訪神社例大祭にあわせて行われる子供相撲への支援 日時:8月27日(日)、会場:諏訪神社境内 内容:大捻縄引きで使った大縄を土俵として活用するとともに、参加者を増やす取組を行った。 ③十五夜、十三夜の行事(豊年棒)保存継承の支援 日時:子どもたちの豊年棒づくりに協力した。 ④地域の社会資源の融合・連携事業の検討を行った。 ⑤自然が織りなす田園風景の保全、活用推進の検討を行った。 【平成30年度以降】 上記①～⑤を実施するとともに、佐良土小学校との連携した生涯学習事業を行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進) 【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】 【目標②】「時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに地域と地域を連携する」(教育活動の充実) 【KPI②】若者意向調査での「大田原市に卒業後も住んでみたいと思う、いつかは住んでみたいと思う」と回答した人の割合 H26:25.1%→H32:30%【次期調査時まで把握不可能】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④、⑤佐良土小学校との事業 検討	①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④佐良土小学校と連携した生 涯学習事業 ⑤ワークショップの実施	①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④佐良土小学校と連携した生 涯学習事業 ⑤ワークショップの実施		①大捻縄引きの実施 ②子供相撲への支援 ③豊年棒への支援 ④佐良土小学校と連携した生 涯学習事業 ⑤ワークショップの実施
事業費	2,600,230	1,500,000	1,500,000	5,600,230	750,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,500,000	1,000,000	1,000,000	3,500,000	0
うち県交付金	750,000	500,000	500,000	1,750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,100,230	500,000	500,000	2,100,230	750,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	木村哲哉
電話	0287-23-8701
FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakusuishin@city.ohatawara.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)  
【単独事業】

市町名	大田原市
事業名	地域の歴史的伝統の菊文化の復活と普及活動による金丸・大田原の活性化事業
事業主体の名称	金丸菊の会
代表者の名称	戸村 聖一
事業主体の所在	〒324-0041 栃木県大田原市本町1-3-3 (株式会社大田原ツーリズム内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的:金丸地区を中心とした地域で、歴史的に伝統文化である菊を地域の住民、学校、団体などと一緒に復活させ、イベントやボランティア活動への提供や伝統文化を継承していくことで、地域活性化を図ることを目的とする。</li> <li>・設立年月日:平成28年4月1日(平成28年度は部会。正式な単独の会としてはH29年4月から)</li> <li>・構成員等:金丸を中心とする住民や団体、学校等のボランティア</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	金丸地区には国指定重要文化財である那須神社があり、その神社と繋がりをもつて伝統的に菊栽培と菊のお祭りが開催されてきた。しかし現在は菊栽培を行う農家も少なくなり、衰退してしまい、祭りでも地元の菊を見ることはなくなった。歴史的に物語があり、伝統もあるこの菊の復活を地域内でも望んでいる。そのため、いかにしてこの伝統文化を継承し、次世代に伝えていくかが課題となっている。
事業目的	衰退していた菊の栽培にもかかわらず、金丸地区活性化協議会によるお祭りの復活や地域活性の取組で、この菊会が昨年に立ちあがり、人数も20名を超える程に増え、一つの団体として活動しはじめた。今後の活動として、金丸地区だけでなくとどまらず広く大田原市全域への菊の普及を通して、伝統文化の継承と地域の活性化を行うことを目的とする。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①菊づくりの人材育成と菊栽培 地域の人への勉強会や栽培指導 計8回実施</li> <li>②学校での菊栽培の指導 金丸小学校、奥沢小学校、金田南中学校 計11回実施</li> <li>③イベントへの菊展示             <ul style="list-style-type: none"> <li>・大田原菊花展(9月15日、10月19日、11月3日)</li> <li>・菊花祭&amp;音楽祭in那須神社での展示11月6日～11月12日</li> </ul> </li> </ul> <p>【平成30年度以降】</p> <p>前年度の事業の反省点を踏まえて、継続的に実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標①】「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに地域と地域を連携する」 (幸せ感向上の実現に向けた「知恵と愛にある共同互恵のまちづくり」 地域コミュニティ活動の活性化とふるさとづくりの推進)</p> <p>【KPI①】地域づくりのリーダー養成数 新規→H32:100人【H27実績104人】</p> <p>【目標②】「大田原市への新しい人の流れをつくる」(文化・芸術・スポーツを活用したまちづくりの推進)</p> <p>【KPI②】文化芸術イベントの来場者数 H26:4,790人→H32:5,000人【H27実績:2,756人】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加	①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布		①菊づくりの人材育成と菊栽培(勉強会や栽培指導) ②学校での菊栽培の指導 ③イベントでの展示参加 ④活動の推進や地域の情報を紹介するパンフレットの作成と配布
事業費	1,515,337	1,600,000	1,600,000	4,715,337	500,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,500,000	1,500,000	1,500,000	4,500,000	0
うち県交付金	750,000	750,000	750,000	2,250,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	15,337	100,000	100,000	215,337	500,000

市町担当情報	
担当課(グループ・係)名	総合政策部政策推進課地域振興係
担当者名	飯塚健次
電話	0287-23-8701
連絡先 FAX	0287-23-8748
E-mail	seisakuisishin@city.ohatawara.tochigi.jp